

教育の新希望

国立南科国際実験高等学校(以下南科実中と略称)は、2009学年に総計82クラス、内訳は小学部42クラス、中学部23クラス、高校部6クラス、バイリンガル部11クラスで、生徒数2,214人です。南科実中は園区と社会資源が結び付き、科学教育を重点に、人文雰囲気为基础にする等新しい教学様式に実践し、すでに遠見性並びに国際間のある指標学校に発展しています。

国境のない交流学習

アメリカの高校との交流で、国際観を養成

生徒の言語学習及び異文化体験を強化するため、南科実中は2007年よりアメリカ・ミズリー州のHannibal高校と相互交流を行っています。2009年の夏休みは戴旭璋校長が10名の初回の高校生を引率し、台北大理高校の教師生徒と共に7月27日アメリカに出発して、一連の交流活動を展開しました。この活動では「台湾の芸術と文化」を主軸にして、Hannibal市の年度芸術祭活動に参加しました。生徒たちはそれぞれ芸術、子供の遊び、飲食、節句等の我が国文化を代表する創意ある模擬店を設置して、各種の文化体験を提供し、合わせて武術及び先住民の舞踏をパフォーマンスして、参観者から絶大な好評を博し、アメリカのメディアにも報道されました。

自然災害に関心、国際青少年サミットに参加

2009年自然災害国際青少年サミットは3月14日に高雄科学工藝博物館で行われ、南科実中は戴旭璋校長の引率の下、8名の高校1年生の生徒が2組に分かれて参加しました。この活動にはインドネシア、オーストラリア、日本及びトルコから約400名の高校生が参加し、全ての参加グループが組別に防災に関するテーマ研究報告を発表しました。南科実中の生徒は「台風」及び「地震」を研究テーマにして、電子安全地図を描きました。また各国の高校生たちとも会議中に異なる災害経験や解決方法を共有しました。

ドイツ・シュツットガルト青年弦楽団が南科で初演、南科実中が接待を計画

ドイツ・シュツットガルト音楽学校の青年弦楽団が2009年8月に台湾を訪問し、4会場で演奏を行いました。8月4日の初演は南科で登場し、南科実中が楽団の接待とコンサート準備事項の責任を負い、また小学部管楽団との合同演奏も実現しました。コンサートのパフォーマンスは精彩で、大きな反響があり、南科実中の接待も国際友好に大きな手助けになりました。

極めて優秀なコンテストの成績

2009 AMC10数学試験で、一際輝く成績

南科実中の44名の高校1年生が2009年2月アメリカ数学協会が主催し、最も権威のある数学試験「AMC10」に初めて参加し、そのうち11名の学生が120点(150点満点)以上の優れた成績を収め、栄誉証書を受賞しました。受賞者の中で黄郁茵さんが141点の好成績でエリート徽章を受賞しました。南科実中は参加生徒の25%が証書を受賞したことで、台湾全体の受賞比率10.3%(6,447人が参加し、669人が証書受賞)と比較して、極めて優れた成績と言えます。



GIS地理製図コンテスト、議題深入により全国特優

南科実中高校部はPBLテーマ研究カリキュラムを開設し、生徒戴子揚さん、李冠璋さん、許家維さんの3人は「2008金融津波の衝撃三部曲」を研究テーマにして、全国高校職業高校「GIS地図製図コンテスト」に参加しました。株式市場の下げ幅、経済衰退、政治の衝撃を三部曲にしてテーマ地図製図を行い、金融津波の全世界に与えた影響を現して、100数校参加した中から決勝に進み、プレゼンと応答による質疑応答を行いました。金融津波の議題について深く掌握していた為、決勝の中でも抜きん出て、特優の栄誉を受けました。

第5回全国単語コンテスト、第2位と3位に

南科実中の生徒が第5回全国英文単語コンテストに参加し、10名の生徒が決勝に進みました。決勝の試験は綴りで、2,400字から20,000字を命題の基準にし、各設問は10秒以内に手書きしなければならず、1つでも間違えると即座にアウトになってしまいます。バイリンガル部の生徒鄭筱安さんと林育辰さんが次々に対戦相手を打ち破って、200名の参加者の中から勝ち残り、中学生の部で全国第2位と第3位になりました。

管楽団が新しい勢力に、全県のチャンピオンになる

南科実中小学部の管楽団は2008年に成立したばかりですが、専業教師の指導と父兄の厚い支持の下、急速な進歩を見せました。2009年12月に台南県音楽コンクールに参加し、非凡なパフォーマンスを見せて何年も優勝しているグループを退け、管楽合奏の第1位になりました。

教育の成長、細心な深耕

輝かしい生徒募集、採用標準は台南県最高

南科実中高校部の初回生徒募集成績は素晴らしく、生徒のパフォーマンスも傑出していました。2009年に採用した第2回募集生徒も更に好成績を収め、最低採用点数は377点に達し、台南県の高校で最高の合格標準になりました。これは大台南地区の優秀な生徒の第一志望校になったばかりではなく、更に高雄や台中等県外の生徒も就学するようになりました。

国際競争力を深耕、数理実験クラスが成立

南科実中高校部は2009年「国際競争力深耕」実験教育計画が教育部の審査を通過し、「数理実験クラス」の成立が許可されました。これにより、積極的に数理実験教育を行うことができ、近隣の学術機関と提携協力関係が築けます。同時に、音楽、美術、家政、健康並びに看護等の科目も英語での授業を行い、英語教学を芸術技能科目にまで延長させて、積極的に南科実中の国際化教育ビジョンを実現します。

科学教育ウィーク、幼児童の科学に対する興味を啓発

南科実中小学部は2009年5月に科学教育ウィーク活動を行いました。そのうちの親子科学園遊会は硬いイメージのある科学知識を各種の面白い体験ができるゲーム方式に変えて、楽しみながら学べる寓意教育の効果を達成しました。児童の科学学習に対する興味を啓発し、同時に親子と一緒に参加することで、親子間の相互交流と理解を増進しました。



南科実中の高校1年生が「GIS地理製図コンテスト」で全国特優を受賞(2009.5.16)



2009年自然災害国際青少年サミットでトルコ代表と記念撮影(2009.3.14)



シュツットガルト楽団と南科実中小学部管楽団の管弦楽合奏(2009.8.4)



南科実中小学部管楽団が台南県管楽合奏のチャンピオンに(2009.12.9)



多くの人気を集めた南科実中小学部科学園遊会のロボット犬展示(2009.5.9)